



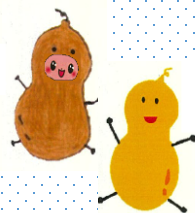
▲家族3人でお気に入りの自宅のドアの前で

「遠い異国でゆったり暮らす毎日。
ふと浮かぶのは岩代の田園風景です」
～ゆかり・リンジーさん

世界の街から
こんにちは①

「岩代と世界はつながっている」そんな想いから新企画がスタート。岩代出身で県外や世界をはじめ、岩代地域以外で暮らしている人々を随時、紹介します。一回目は二〇〇八年、結婚を機にニュージーランド（NZ）に移住したゆかりさんに、現地での暮らしや故郷、岩代への想いについてたずねました。

かわら版
いわしろ



▲築100年以上の家は庭も広く子育てにも理想的な環境

Q NZに移住した経緯は？

パートナーと出会ったのは十数年前。カナダへの留学経験があった私に、友人がALT講師のマークを紹介してくれました。彼は二本松が大好きでしたが、任期終了後に母国へ帰国する予定でしたので、結婚して私も行くことになりました。

Q 現地での生活は？

こちらでは彼の家族のホリデーハウス（別荘）だった家に住んでいます。彼が自分で塗ったのですが、イエローの外壁が気に入っています。

私は介護施設に十年以上勤務し、子どもが生まれてからは週に三日程度働いています。

保育園に勤める彼は、長年趣味で子ども向けラジオ番組のDJをしています。家庭菜園も趣

ゆかりさんが住んでいる
ダニーデン市とは？
暮らし方やエピソードは？

ダニーデン市は、太平洋を見渡することができるサウスアイランドで2番目に大きな街です。19世紀にスコットランドからの移民によって開拓された歴史から、現在も重厚な古い建物が並び、「南海のエンジンバラ」とも呼ばれています。

国内初の大学が置かれたアカデミックな都市でもあり、自然の神秘と魅力を満喫できるオタゴ半島は、エコツアーの聖地としても知られています。

★美しい海岸線を散歩

「海の近くに住んでいるので砂浜で遊んだり、海を眺めながら娘と散歩するのが毎日の楽しみです」。



★バレンタインデーの贈り物はウニ&ワカメ！

「バレンタインデーに、主人が海でウニとワカメを採ってくれました。ウニはこちらでは食べる人が少なく、海で自由に採れるんです。この時はウニ丼にして美味しくいただきました」。



味で、庭の畑で野菜や果物などを育てています。私の趣味は、かぎ編みや棒編みです。ショーールやカパー、ヌイグルミなど家の中には作品であふれています。



▲ヌイグルミも手作り

Q 故郷について想うことは？

出産後しばらくたった頃にコロナ禍になり、日本には六年ほど帰っていません。小浜の実家の家族とはオンラインで近況を話していますが、時折、日本を恋しく思うことがあります。特に懐かしき思い出するのは、実家の前にある田園風景です。また、小中学生の頃に通学して



▲合戦場の桜の下での前撮りはふたりが第1号カップル

いた小浜の街並みも、私にとって故郷の原風景です。日本の生活に溶け込んでいたマークは私以上に岩代のことを知っていて、日山登山に連れて行ってもらった思い出もあります。実は彼の希望で、結婚式の前に合戦場のしだれ桜の前で記念撮影を行いました。いつか家族三人で帰国できる日を楽しみにしています。

I Love Iwashiro ⑬

〽日山橋と狛犬像

岩代を愛する人がすすめる地元の魅力あるスポットを紹介します。十三回目は、田沢にある日山橋と狛犬像です。

田沢の国道から日山へ向かう道の途中に口太川にかかる「日山橋」があり、その両端に二頭の狛犬像が座しています。遡ること平成元年八月、記録的な大雨により口太川各所が決壊。日山橋も崩落し、周辺の家屋や田畑に甚大な被害をもたらしました。その復旧のために、国や県による口太川河川災害関連事業が行われ、田沢神社の役員会により陳情されたのがこの狛犬像の設置でした。



▲30年前に建設された日山橋と石造りの狛犬像



▲日山への参道を守護する存在

そして二年後の平成三年に新たな日山橋が完成。神社役員会の希望により石の狛犬像には、旧岩代町のシンボルのツツジとウグイスが刻まれました。狛犬に関連して忘れてはならないのが日山神社です。その歴史は古く、八幡太郎義家が戦勝祈願したのが始まりともいわれます。橋が完成する前年には、地元有志により日山山頂に石の大鳥居も建立されました。日山橋は、日山神社の参道入り口にあたり、狛犬はいわば神域への門番として置かれていす。地元を愛する人たちの日山への畏敬を表すシンボルとして、狛犬は今も道行く人の安全を見守っています。

◇紹介してくれた方◇

遠藤栄弘さん

「日山神社役員会のメンバーだった亡き父、遠藤春雄の著書『あぶくま哀歌』にも日山橋や日山神社の大鳥居建設の苦心談やエピソードが書き記されています。当時の田沢神社役員会や地元の有志の皆さんの郷土愛と地元への功績には、頭が下がる思いです」

岩代運動場開設50周年記念展 展示中です！

昭和46年、岩代町に福島県内でも先駆けとなった総合運動場が開設されました。それに伴い県北大大会や各種大会が行われ、地元には活気と賑わいが創出されました。記念展では、その50年の軌跡を分かりやすく紹介しています。



- * 期間／12月～1月中旬まで
- * 場所／岩代支所1階ロビー
- * 展示時間／9時～17時

◀「小浜の歴史と文化を護る会」がパネル製作に協力。懐かしい写真も多数紹介されています。ぜひ足を運んでください！

★★さくらの郷★★ 光のイルミネーション 期間：12月15日～1月31日

「2022年への希望と岩代の皆さんへの感謝を込めてライトアップします。一度、立ち寄ってみてください」
(地域おこし協力隊：内山祐樹さん)



岩代の歴史シリーズ

〽「塩の道」⑤

「塩の道」戸沢に毎年四月に紅色の花がなだれ落ちるように咲き乱れる護摩桜で有名な愛蔵寺がある。寺はこれまで二度の火災にあった。

二度目の火災の際に吹き上げられた護摩桜が近くの桜の枝にとどまった。護摩桜の由来である。

この桜の立つ地に再建した愛蔵寺の護摩桜は大火よけのお守りとして、遠く日本橋、京都などからも参拝客があり、相馬藩主も参勤交代の際に立ち寄っては、護摩桜を受けたという……。独眼竜伊達政宗が小浜城支城攻めの軍議の際に雨宿りしたと伝えられる「久喜の笠松」。

畠山義継に父輝宗拉致の報を聞いた独眼竜政宗が狩場から裸馬を走らせ、家来と合流し、馬に鞍をかけ義継一行を追ったといわれる「鞍掛松」。

「腹切石」「かっか石」「宮森城」「小浜城」等、塩の道の沿道には歴史を物語る数多くの文化財がある。

※小浜地区の史跡名勝を紹介したパンフレット「史跡名勝二七選」(小浜青年同友会が昭和三年選定)は岩代支所及び住民センター等に置いてあります。